

第55回（2016年度）JACET国際大会北海道支部企画特別講演

北の大地で英語の木を育てる

講師：浦島久（ジョイ・イングリッシュ・アカデミー学院長）



9月3日（土）12:40～14:15
北星学園大学図書館4階特別教室
参加費・申込ともに不要

1991年8月、第30回JACET全国大会が札幌で開催された際、シンポジウム「学校英語は役に立つか—国際理解とコミュニケーション—」でパネリストの一人を務めさせていただきました。中学・高校の教員の方々と並んだ当時の私は、経営する英語学校が15年目を迎え、イベントの継続開催や英文雑誌14号目の刊行、5冊目の著書出版など着実に実績を重ねていたことから、上り調子にありました。そのため、生意気な発言をしたのでは、と今更ながら気がかりです。

人口20万人に満たない北海道の地方都市・帯広で、私は英語学校を始めました。英語の教員免許も留学経験もなかった私にあったものは、ただ、英語学習に対する情熱だけでした。そんな学校が今年、40周年を迎えます。もちろん成功ばかりではありません。この講演会では、地方の小さな町で日本の英語教育について考えたこと、やってきたこと等、率直にお話ししたいと思います。



講演者略歴：浦島久（うらしま・ひさし）

1952年北海道豊頃町生まれ。小樽商科大学（経営学）、帯広畜産大学修士課程（農業経済）修了。小樽商科大学卒業後、松下電器産業株式会社（現社名：パナソニック株式会社）へ入社するが、1977年に北海道へUターン。帯広市にて英会話学校「イングリッシュハウス・ジョイ」を設立。現在は、ジョイ・イングリッシュ・アカデミー学院長、小樽商科大学特認教授、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師。近年は、十勝の風景を中心とした写真を通じ、国内外にその魅力を積極的に発信している。著書に『英会話3行革命』（IBC）、『英語で「日本」を話すための音読レッスン』（共著、日本実業出版）、中学校英語検定教科書『ONE WORLD』（教育出版、著作者）など多数。趣味は音楽（ジャズ）、カーリング（世界シニアカーリング選手権に2009年、2010年、2013年、2014年出場）。